



風評被害を払拭！選手による 村上市訪問・復興支援活動

2019年6月18日に村上市府屋で震度6強を観測した山形県沖地震の復興支援を目的に実施。震災の影響による観光資源への風評被害を懸念する村上市の実情を聞き、観光地を訪問して季節の食べ物を試食するほか、被災地域の小学校を訪問して児童と交流。

- 活動場所** : 村上市立さんぼく小学校、道の駅笹川流れ・夕日会館、瀬波温泉・大観荘せなみの湯
- 取組テーマ** : 防災・震災復興
- 協働者** : 学校／行政／瀬波温泉旅館協同組合
- 協働者名** : 村上市立さんぼく小学校、村上市観光課、瀬波温泉旅館協同組合

活動で工夫した点

- ①アルビレックス新潟選手会の発案による実施
- ②SNSの他、クラブ会員サイト（モバアルZ）で訪問の様子を動画配信してPR
- ③マスメディア（TV・新聞）に取材にお越しいただき、広く発信。

活動で大変だった（苦労した）ポイント

季節柄、特産品が岩ガキだった。自分たちが試食することで復興支援に貢献したい選手の想いと、暑い時期の生ものは控えてほしいというチームスタッフの考えの相違があった。

クラブや地域の活動後の変化

新潟県内全市町村ホームタウン広域化・追加承認を申請中であったため、本活動を通じて新潟市だけでなく他の市町村もホームタウンになるという意識づけができた。



協働者の声

瀬波温泉大観荘せなみの湯 予約部 本間さん：被害はなく翌日から営業していたが、（観光客に）戻ってきてほしい。リピーターの方からも励ましの電話をいただいた。

参加者の声

村上市観光課横山さん：子どもたち含め、訪問先の皆さんがとても喜んでいた。

活動の「ここぞ！」というPRポイント

- ①選手会の発案であること
- ②村上市の声に耳を傾けた実情に即した活動であること。

補足

-